

「生徒が主体となる授業」について考える

【中学校】初任者研修に係る校外研修「授業参観」 令和6年5月23日 【日田教育事務所】

◆要旨◆ 初任者研修「授業参観(中学校)」(管内中学校初任者、九重町教育委員会、教育事務所)

○目的

令和6年度初任者研修の対象者に対し、授業参観及び授業づくりに係る研究協議を通して、実践的指導力の向上に資する。

○授業参観及び協議の視点

「生徒が主体となる授業について」

授業の概要

- ◆社会科 中学校第1学年
- ◆単元名 「人々の生活と環境」
＜全9時間＞
- ◆本時のねらい ＜第1時＞
「世界の地域について、写真や雨温図を比較し、気候の特色を理解することができる。」(知識・技能)

【めあて】
世界の5つの地域の気候の違いを調べ、まとめよう。

【課題】
なぜ地域によって自然環境が異なるのか。

【まとめ】
それぞれの地域の気温や降水量の違いが自然環境に大きく影響を与えているから。

【振り返り】
今日学んだことについて、もっと知りたいことを書く。

受講者の学び(「アンケート」より)

<子どもの主体性を大切にする>

■支える

<理解する>

- ・小学校での学びを意識する
- ・肯定的な言葉かけ⇒自尊感情の高まり
- ・方向性を示す言葉かけ⇒思考の促進、深化
- ・「生徒の発言やつぶやき、姿勢などを、教師が丁寧に拾うことの効果を実感した。生徒同士を繋ぐことが、学級全体で課題解決に向かう姿にもなることから、自分も意識したい。」

<待つ・丁寧すぎない>

- ・生徒同士で協働しながら課題解決ができるような声かけ
- ・生徒が課題解決に向かうための十分な時間を確保
- ・教師がすべて説明しない

■観察する・イメージする

- ・机間指導・生徒と目を合わせる立ち位置、姿勢
- ・「困りのある生徒に支援をするため、日頃から意識して細かく見取っていきたい。」



<子どもの主体的な姿>

■生徒が選択できる学習形態

- ・「生徒が必要に応じて個・ペア・グループを選択しながら活動する様子から、「自立した学習者」に向かう工夫の一つとして参考になった。」
- ・「授業の展開の部分で生徒の主体性が発揮されるような工夫をしていきたい。」

■課題を引き受けて、情報から考察したり、生徒同士で課題を解決したりする姿

■ICTを活用した他者参照

